

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1年9月26日(木) (16:30~17:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 梶川 足立尚 山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	9人	1人	人	13人

前回の改善計画
本人や家族の意向やニーズを考え、職員間で話し合い、よりよいケアに繋げる。その為にも、情報共有の意識を高め、些細なことでもミーティングやノートを活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
申送りや毎月のミーティングにて情報共有が出来ている。些細な情報も記載できるようになってきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	10	1		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	9	1		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	9			14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	8	1		14

できている点
利用開始時に、所長やケアマネからの利用者の説明や情報提供書で確認している。利用後は、本人や家族と積極的に関わり、得た情報(些細なことなども)を申送りノートに記載したり、やミーティングにて発言したり、職員間で情報共有し、本人や家族の思いに添えるように、職員間で相談している。

できていない点
家族と話す(会う)機会がなかったり、挨拶だけになっていたりしている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ミーティングや申送り、申送りノートを活用して情報共有を継続していく。申送りノート等で情報共有出来ているが、どの職員に聞いても答えられるように、結論だけを記載するのではなく、詳しく“なぜこういう利用になったか”“なぜ休みなのか”等理由まで記載する。 家族と話す機会を設けるために、小規模計画立案時や更新時、サービス担当者会議時に担当職員が出来る限り、参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1年9月26日(木) (16:30~17:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 梶川 足立尚 山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人	2人	人	13人

前回の改善計画	認知症の研修を継続することで、少しでも理解を深め、意思疎通の難しい方に対して穏やかに過ごしてもらえる工夫を見つけ出していく。また、本人だけでなく家族から情報を得て、言動・行動に注意して対応策を考える。
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症の研修を年間計画に挙げている。穏やかに過ごしてもらえるように、職員間で情報共有したり、家族とも密に連絡を取り合ったりし、対応策や利用方法等の相談が来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		10	4		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	8	4		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	8	4		14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	7	3		14

できている点	情報提供書や送り等で理解に努め、普段の関わりから“何がしたい”のかを考えて接している。また、普段の言動や行動にアンテナを張っている。
--------	--

できていない点	本人の目標は、心の内にあることが多かったり、意志疎通が出来なかつたりする利用者もおられ、利用当初の情報と異なることや真意のものがわからない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	各職員に利用担当をつけているので、その方と関係性を築き、本心を聞きだせるようにする。また、コミュニケーションを図ることが難しい方に対して、家族からの話を聞くように心掛ける。小規模計画立案時や更新時にコミュニケーションを図り、どういう想いで生活を過ごされているのか、何かしたいことが無いかなど、利用者の理解に努める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1年9月26日(木) (16:30~17:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 梶川 足立尚 山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	1人	人	13人

前回の改善計画
引き続き、介護技術面で不安を取り除き、統一したケアに努める。
以前の暮らしの情報収集を本人や家族から行い、その人らしい生活を考え、サービス内容に組み込むようにする。また、在宅生活を考えたケア内容にする。

前回の改善計画に対する取組み結果
技術面において、ミーティングや申し送りにて実践し、統一のケアに努めている。
小規模計画にて自立支援を組み込んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		7	6	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	7	1	1	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	7	2	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	6	2	1	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	8	2		14

できている点
知り得た利用者情報(言動行動を含む)は申し送りやミーティングだけではなく、日頃より発信して、情報共有し状態や状況の把握に努めている。

できていない点
すべての利用者において、以前の暮らし(10個以上)を把握しきれていない。
聞き取れない利用者もおられ、家族ともなかなか会えず、情報が得られない。

次回までの具体的な改善計画
コミュニケーションを図りにくい方やなかなか会えない家族と関わりを持つためにも、サービス担当者会議や小規模計画立案・更新時に担当職員が家族と顔を合わせる機会を設け、利用者の理解に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1年9月26日(木) (16:30~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 梶川 足立尚 山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	9人	2人	人	13人

前回の改善計画
社会資源を確認し、それを活かすことが出来ないか本人や家族と検討する。そのために、事業所として、どのようなサービスが出来るかを考えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者や家族に社会資源の提案し、資源の活用繋がっている方もいる。事業所として地域行事を開催し、参加者(地域の方)から相談されることもある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係を理解していますか?	2	8	4		14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	9	3		14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	10	2		14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	9	4		14

できている点
所長やケアマネが主体となり、民生委員や社会資源の活用に取り組んでいる。
本人や家族に自宅での様子を尋ね、できることの把握に努め、小規模計画に組み込んでいる。

できていない点
自らは民生委員との連携を取ったりは出来ていない。
口数が少なかったり、病気によりコミュニケーションを取りにくい利用者に対して、どれぐらいの理解があり、どこまで出来るかなどの把握がしきれていない。

次回までの具体的な改善計画
サービス担当者会議には出来るだけ担当職員に参加してもらい、利用者把握に努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1年9月26日(木) (16:30~17:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 梶川 足立尚 山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	10人	2人	人	13人

前回の改善計画
状態変化に気づき、臨機応変な利用の提案や提供を続けるとともに、社会資源の活用を本人と家族を交えて考えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
本人の状態や家族の要望等、柔軟なサービス展開出来ている。
一部ではあるが社会資源の活用提案・実施まで行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7	5		14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	7	2		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	6	6	2		14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	8	2		14

できている点
日々の様子に変化があれば、申送りや業務中に報告し、相談出来ている。状態に合わせて、サービス調整も所長主体となり、臨機応変な対応を取っている。
一部になるが、社会資源の活用提案・実施が出来ている。また、家族も積極的に社会資源を活用している方もおられる。

できていない点
記録を読むことで情報把握に努めているが、全ての記録に目が通せていない。

次回までの具体的な改善計画
継続して、申送りノートを活用し、情報共有を図り、体調や状況に合わせて柔軟なサービスの提供を行う。社会資源を活用できそうな利用者については、提案していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1年9月26日(木) (16:30~17:00)

6. 連携・協働

メンバー 梶川 足立尚 山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	2人	人	13人

前回の改善計画	地域行事に積極的に参加し、認知度を高め、地域行事を継続する。 その他のサービス機関との会議などの情報共有を申し送りやミーティングで行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	自治会より地域行事の声が掛かり、行事だけでなく、会合にも呼んで頂いた。 さまざまな会議の内容を申し送りやミーティングにて伝達できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	8	2	1	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	10	1	2	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	4	7	1	2	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5	8	1		14

できている点	毎月、地域行事の実施が出来ている。また、年2回の園児との交流も年間行事予定に組み込み、実施出来ている。 地域の行事にも所長やケアマネが主体となり、参加出来ている。
--------	--

できていない点	一職員として地域の会議やイベントには参加出来ていない。
---------	-----------------------------

次回までの具体的な改善計画	伝達する方法で会議内容やイベント参加の感想等を報告し、情報共有に努める。
---------------	--------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1年9月26日(木) (16:30~17:00)

7. 運営

メンバー 梶川 足立尚 山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	1人	人	13人

前回の改善計画
今年度、地域の方に参加してもらう行事を年間計画に組み込むことで、多数の方に参加して頂き、継続していく。来年度は、地域行事に参加する働きかけを行っていく。 本人や家族の要望を聞き取り、よりよい運営を考えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域行事についても年間計画を立て、実施出来ている。毎回、10数名の地域の方が参加されている。 本人や家族の要望に対し、臨機応変な利用調整を行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	4	7	3		14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	10	1		14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	6		14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3	9	2		14

できている点
利用者や家族からの意見を都度、報告し、相談出来ている。また、気になることは曖昧にせず、職員間で話が出来ている。 地域との関わりは所長を主体として計画、実施出来ている。

できていない点
一職員として、地域の方とあまり話す機会がなく、意見や苦情などを聞くことがない。

次回までの具体的な改善計画
地域行事を継続するとともに、顔なじみの関係性を築けるように、講話を聞くだけでなく、利用者や地域の方と一緒に関わる行事内容にし、地域の意見を汲み取るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1年9月26日(木) (16:30~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 梶川 足立尚 山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	3人	人	13人

前回の改善計画	事業所内研修で興味のあるものや不得意分野の項目の研修を担当するようにし、情報発信やケアの向上に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	各職員に対し、理解を深めるための事業所内研修の担当を振り分け、実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	8	2		14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	6	1	14
③	地域連絡会に参加していますか		7	6	1	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	7	4		14

できている点	事業所内研修には参加出来ている。 業務でのリスクマネジメントは常に心がけている。また、インシデントや不適合報告等を行い、原因追及し、対策を立てている。
--------	--

できていない点	資格取得に向け、行動が出来ていない。
---------	--------------------

次回までの具体的な改善計画	資格取得に係る情報を提供するとともに、事業所内研修では資格取得に関連するような分野を担当して理解を深めていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1年9月26日(木) (16:30~17:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 梶川 足立尚 山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	2人	人	13人

前回の改善計画
不得意な分野や担当していない研修を担当することで、理解を深める。また、職員の学びたい内容を研修項目に組み込んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果
事業所内研修の年間計画において、各職員に理解してほしい分野を振り分け、実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	4			14
②	虐待は行われていない	12	2			14
③	プライバシーが守られている	9	5			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している		5	8	1	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	5	1		14

できている点
個人情報を持ち出さないようにしており、個人情報が記載されている書類はすぐに片づけるようにしている。 プライバシーを守るように心掛けている。(入浴時や排泄時に、少しでも本人にとって不快を与えないようにしている。) 虐待は行われていない。

できていない点
成年後見制度が理解出来ていない。

次回までの具体的な改善計画
事業所内研修を継続し、不得意分野の理解に努める。 成年後見制度のような制度に関する分野を事業所内研修項目に取り入れ、実施し理解を図る。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	岡本 のぶ子	法人・事業所の特徴	法人運営理念「地域に根ざした誠実でより良い医療・介護の実践」に基づき、まずは誠実であることから信頼に繋げていきたいと支援しています。特に在宅での生活をいかにサポートするかを本人や家族と協力しながら事業所の運営を行ってきました。柏原の郷では、毎月、地域交流を行っています。体操と毎月テーマを変え、講話や体験等を提供しています。それをきっかけに気軽に立ち寄れる場所になればと考えています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 柏原の郷	管理者	梶川 丞		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所行事は継続して、毎月行っいき、地域交流を図りながら、相談しやすい環境にしていく。	・地域交流の行事は毎月実施している。その際に、相談されることもある。	・スタッフの人数が増えているし、充実した取り組みにつながっているのではないかと。申し送りなど連携については？ →訪問、通所、泊りを組み合わせて対応していることもあり、連携はできている。 ・本人との関わりが難しい事例については？ →ご家族との連携から取り組んでいる。 ・民生委員より、一連の流れを見たり、聞いたりしている中で、よくやっていると思う。	・各項目の改善計画が達成できるものにし、事業所の周知はもちろん、取り組んでいる内容も知ってもらう。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域参加型の行事を継続することで、気軽に立ち寄り、相談しやすい環境にする。施錠や屋外に行かれた際の対応等に、疑問を持たれないように運営推進会議や相談時にも説明していく。	・事業所開催による地域交流だけでなく、自治会の行事にも参加することで周知は出来ているが、実際に相談があるのは、困った方からの相談のみとなっている。 ・施錠はせず、外に行かれる利用者もおられない。歩行練習で外に出ることはある。	・施錠しないとなっているが、利用者が外に出て事故が起きたり、外部から侵入者が来たり、施錠しないのがよいのか。補償などはあるのか。 →基本的には、施錠せず、職員が目配りこころ配りし対応。また、玄関先にセンサーが入り、外部からの出入りを知らせている。補償もある。 ・民生委員からも、あまり縛るとより不穏になられてしまうと思うと意見あり。 ・居心地については利用者からは、ずっといたいと言ってくれている人がいてくれる。	・施錠しないことのリスクも考え、定期的に職員に注意喚起するとともに、運営推進会議にて、現状報告することで、意識付けおよび安全であることを理解してもらう。 ・直接、事業所に入出入りされる方がほとんどないので、まず、相談に来られた方や電話相談の方に対して、丁寧に接していき、気軽に相談できる場所にしていく。

C. 事業所と地域のかかわり	毎月行っている事業所行事を継続し、体操だけでなく、ためになる情報を発信していく。また、参加できる地域行事に参加する。	・行事は継続出来ており、毎月、さまざまなテーマを決め、テーマに沿った講師を招いて、実施出来ている。	・民生委員より、夏祭りなどできているし、良いと思っている。 ・柏原の郷がどんなことをしているところなのかはあまり把握されていないのでは。	・事業所行事を継続し、少しずつ周知してもらおう。また、地域行事（夏祭りや一日公民館）に参加して、地域交流を図り、声を掛けてもらう関係性を築いていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	自治会の行事に継続して参加し、相談しやすい環境を整えていく。昨年度より地域行事に顔を出すようにする。	・自治会の地域行事に声を掛けてもらえるようになり、何度か参加しているが、相談はあまりない。	・会議について、この運営推進会議がそれにあたると考える。 ・子ども園やボランティアに来てもらうなど、来てもらう形での関わりのほうが、行くよりも前述のスタッフの関係からも現実的。	・自治会の夏祭りや一日公民館に参加する。 ・ADL維持にも個別に歩行練習を取り組み、その際、外を歩く機会を設ける。 ・家族や民生委員に運営推進会議時や訪問時、ご近所で困っておられる方がいないか尋ねる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議において、今後も事例の相談をして、地域にどういった資源があるのかを知る。また、地域住民の情報も尋ねて、相談窓口になるようにする。	・運営推進会議や利用者に利用予定表を配る際に、地域の方で困っておられる方がいないか尋ねるようにはしている。しかし、相談はあまり受けていない。	・事業所の取り組みについては、運営推進会議の場を中心に説明している。 ・柏原が出している広報は大変よいと思う。 ・民生委員より、地域の事を勝手に相談として持ちかけると、その方や周りの方に迷惑がかかるのではないかと感じてしまう。また、相談を持ち掛けるということは、柏原の郷にあっせんしているみたいになるのではないかとも感じてしまうので難しい。 ・自治会への広報配布は営利目的になる恐れがあり、できない。	・運営、会議や他の居宅へ出向く際には、広報配布を行い、事業所の取り組みを伝える。 ・継続して、地域の心配ごとの事例検討を行っていく。 ・頂いた意見に対し、改善策を講じ、会議で報告する。
F. 事業所の防災・災害対策	避難場所に該当する公民館の設備等を把握しておく。また、今回、参加出来なかった地域の消防活動に参加する。	・自治会長と防災のことを話し合い、公民館の設備等を確認している。また、一日公民館（防災について）にも参加出来ている。	・民生委員より、公民館でも避難する場所としてはしっかりと準備はできていないのが現状である。 ・民生委員より、前回の台風の時に、所長から必要箇所に相談があったことは評価できることと思う。	・各災害に応じた避難場所を再検討する。 ・継続して、報連相を行政や地域にしていく。